



車山山頂(昭和54年卒)



八島湿原(昭和55年卒)



(昭和60年卒)



車山高原(昭和60年卒)

思い出あらかると

昭和39年卒

一度限り...

昭和37年実施の修学旅行は、高知・琴平方面へ、日にちを一日ずらして2隊に分けてのものとなった。第1隊は予定通り旅行を終えた。しかし第2隊は高松駅まで帰ったところで濃霧のため宇高連絡船の出帆が遅れた。やっと出帆したものの、10分ほどで投錨碇泊することとなり岡山駅に帰着したのは、翌日午前3時25分であった。しかも当日は通常授業が行われた。旅行後の生徒の反省会の意見で行き先について不適当とした者が適当とする者の二倍を超えた。そんな思い出も今となれば...

思い出あらかると

昭和45年卒

45年前、修学旅行先の宮島の弥山の崖から落ち、意識不明となってしまいました。両親を呼び寄せるほどの重体でありましたが、友だちの早い通報、先生の適切な措置、山岳部、消防団の方々も駆けつけて下さり、おかげで3週間後岡山へ転院、その1ヶ月後に退院しました。多くの方々に感謝しています。過去をどう評価するか、歴史は常に再評価されます。昭和43年11月1日は私が生かされた命を活かして再び生きていく原点であります。(小林啓志)

思い出あらかると

昭和56年卒

旅行2日目の夜、宿泊ホテルのディスコを解放していただき、みんなでフィーバー！当時巷ではディスコブーム。にわかジョン・トラボルタにふんしたS君のおかげで盛り上がった夜でした...

思い出あらかると

平成4年卒

大町温泉郷での宿泊の夜。喉を潤そうと、一部サンプルケースが隠された自動販売機の前に立つ。おもむろに500円硬貨を投入、何気なく隠された部分の下のボタンを押せば、出てきたのは缶ビール。タイミング良く、その側を通りかかるI先生。私はビールを持って先生に近づく。「どうぞ、飲んでください。」「おおっ、すまん。」と、ご機嫌の様子。次の日、上高地にて、先生からはオレンジジュースが返ってきた。今、考えれば怪しいことこの上ないのだが、このすべてを包み込む朝日らしい鷹揚さ、いつまでも大切にしたいものだ、母校の教壇に立ち、日々思いを強くしている。



筑波大学(平成20年卒)



上高地(昭和62年卒)



JAXA(平成25年卒)



札幌時計台(平成13年卒)